

学校経営推進費評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立藤井寺支援学校
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	視線入力装置の活用の拡大による教育効果の向上 学校自己診断アンケートにおける保護者による肯定的評価の向上
計画名	見る力から伝える力・働く力まで — 個の発達を支援するための視線入力装置活用の系統化 —

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1. 【新学習指導要領に基づいた肢体不自由教育の実践力の向上】</p> <p>(3) 児童・生徒が意欲的に力を発揮できるよう、教材教具の開発・工夫に努める。また情報機器を活用し、教育効果を高める取り組みを進める。</p> <p>(5) 事例研究会、公開授業などを行うとともに校内における研修・研究活動を積極的に行い、高い見識と専門的な知識、豊かな教養の涵養に努める。近肢研・全肢研での発表など本校の取組みを広く全国に発信する。</p>
事業目標	<p>近年、手指の操作に困難のある児童・生徒の学習や意思伝達的手段として注目を集めている視線入力装置の活用を全校的に進め、児童・生徒それぞれの個の実態に合わせた効果的な活用方法を検討し、系統化を行う。</p> <p>重度重複障害のある児童・生徒には見る力や認知能力を伸ばす取組みとスイッチ入力・音声入力や視覚以外でのフィードバックなどの方法との組合せの検討を中心に行い、児童・生徒の個別の課題やねらいに応じて意思伝達装置としての活用やコンピュータ操作の手法としての活用へつながるように系統立てて取組みを進める。</p>
整備した 設備・物品 (数量)	<p>視線入力装置 Tobii PC Eye Mini (2)、 視線入力用ソフトウェア (トビー視線ビューワ(2)、センサリーアイ FX(2)、トビー・コミュニケーター(2)、DroptalkWindows 版(2))</p> <p>視線入力用 Windows10 PC (2)、大型ディスプレイ(2)・支持具パソッテル(2)、 だっこスピーカー(2)、スイッチ(発声促進器 L(1)、タッチスイッチラッチ機能付き(1))、 動作解析用ソフトウェア OAK Cam(1)、オープンネット用無線アクセスポイント(8)</p>
取組みの 主担・実施者	首席・自立活動支援部・情報教育部の教員等
本年度の 取組内容	<p>視線入力装置の設定(8月)、各学部における自立活動の時間を主とした視線入力装置活用の開始(9月)、先行事例(福岡県立今津特別支援学校・福岡県立柳川特別支援学校)の視察(9/10、9/11) 府立支援学校 ICT 研究協議会における実践公開(11/27)、教職員向け視線入力装置の説明会(1/23)</p> <p>オープンネットの設置については申請中、学校 HP による視線入力装置活用の取組みについての広報は準備中</p> <p>※ 各学部における視線入力装置の活用は、自立活動の時間を中心に1回10分から15分程度、週1回から2回実施した</p>

成果の検証方法 と評価指標	視線入力装置の活用に取り組む児童・生徒の割合を 20 パーセント以上とする
自己評価	全校児童・生徒のうち、20 パーセント以上の児童・生徒で視線入力装置の活用と体験を実施することができた。学部ごとの比率に差があることが課題である…………… (○)
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> • 視線入力装置の活用に取り組む教職員や、活用・体験する児童・生徒の数には学部ごとに差があるので、全校的に利用の拡大ができるように活用方法や教材を提示していくことが必要である。教員や児童・生徒が自由に体験できるように、廊下やホールに機器を設置するなど、機器を身近に感じられるようにする予定である。 • 視線入力装置を活用できる教職員を増やすために、学期に 1 回程度研修会を実施する。1 学期はセッティングを中心とした基本事項、2 学期と 3 学期は教材の作成や活用を研修課題とする。 • 視線入力装置の活用対象となる児童・生徒は限られているため、活用する児童・生徒数を増やすことだけをめざすのではなく、活用に適した児童・生徒に対する取組みを充実させていく方向性も重要である。 • 複数のモデルケースを選び、活用状況について学校 HP 等を活用して定期的に広報することで視線入力装置の活用の方向性を示していくこととする。